

メッセージボード

2023年12月3日(日曜日)

オーケストラ・アンサンブル金沢武豊公演

オーケストラ・キャラバン～オーケストラと心に響くひとときを～

《アンケートより》

- ・開演前のロビーでの四重奏の演奏会はとても良かった。(70歳以上)
- ・ずっと聴きたいと思いながら、やっと今日初めて聴かせていただけたオーケストラ・アンサンブル金沢さんと岡本誠司さんの演奏会を企画して下さい、有難うございました。パガニーニのヴァイオリン協奏曲の第2楽章とアンコールの深みのある音色と演奏がすばらしくて、感動して泣き通しでした。心がとても慰められました。(60代)
- ・こんなに素晴らしい演奏を地元で聴けるなんて!!ぜひまたOEKをよんでください。我が子にもきかせたい(未就学の為、まだ入れない)(40代)
- ・次々と出てくる岡本誠司さんの超絶技巧に圧倒され、演奏の手元から目が離せませんでした。ヴァイオリン協奏曲第1楽章のカデンツァには、聞き慣れたモチーフがちりばめられ、楽しみながら聴きました。そして、オーケストラ・アンサンブル金沢のすばらしい音色にも魅了されました。これからも応援しています。(60代)
- ・久し振りのOEKでとても楽しみです。一時期、毎年のように来武してくださってありがとうございました。クラシック「楽しみ」を抱かせて頂いたと思っています。敷居が高い、難しい…と思う気持ちを、OEKとゆめブラが取っ払ってくれました。美しい音色に包まれ幸せでした。(60代)



<担当者より>

以前は毎年のように来ていただいていたOEK(オーケストラ・アンサンブル金沢)。なかなか予算が取れずお呼びできずにいたのですが、今回は文化庁の助成金事業でOEKさんから一緒に、と声をかけていただきました。しかもソリストは若手トップクラスのヴァイオリニスト岡本誠司さん!素晴らしい演奏を皆様にとっぷり楽しんでいただくことができ、本当に感謝です。

2023年12月16日(土曜日)・17日(日曜日)

武豊町民劇団TAKE TO YOU 2023年度定期公演

味噌蔵に隠された「夢」のおはなし「ミノクロニクル -MISO NO CHRONICLE-」

《アンケートより》

- ・みなさんの元々な表情・演技・歌がとても素晴らしかったです。次回もまた来たいと思いました。ありがとうございました。(20代)
- ・父の紹介で公演を見させて頂きました。物語の構成はもちろんですが、演者の方々の演技力以上に心に響くメッセージ性が印象的でした。幼い頃に読んだ物語とその時感じた気持ちも同時に思い出しました。明日からまた頑張れそうな勇氣と元気をもらいました。(20代)
- ・めっちゃ良かったー!5つの味の合わせミソを舐めるシーンで泣きましたー最高!20周年おめでとうございます。これからもますますのご活躍を!!(50代)
- ・初めて観させていただきました。面白くて面白くてあつという間の時間でした。次回以降も楽しみにしています。これからも応援しています。(60代)



<担当者より>

劇団旗揚げ20周年おめでとうございます。今回は武豊町の特産である味噌を題材としたミュージカルでした。作品を作るにあたり、劇団員は地元の蔵元に取材や味噌蔵の見学をし、味噌造りの歴史や味噌造りにかける思いを作品に反映させていました。今回もTAKE TO YOUの得意とする歌やダンスに、謎解きのようなストーリーと演劇ならではの迫力をお客様は客席で味わえたと思います。来年度は町制70周年。どんな作品になるのか、いまから待ち遠しいです。

2024年1月20日(土曜日)・21(日曜日)

まっプロ「父と暮せば」

《アンケートより》

- ・とても素晴らしかったです。二人の迫力のある演技がよかったし、広島弁の脚本もとてもよかった。(60代)
- ・凄く感動した。「生きる」意味を改めて考えた(60代)
- ・普段大きめの公演ばかり見がちで小さめのこういった公演はそもそもあまり機会がなかったのでとても良かったです。(30代)
- ・言葉にできないほど感動しました。ありがとうございました。(40代)
- ・とても心に響きました。やはり戦争はイヤです。人の心のあたたかさ、親を思う、子を思う、人を思う心。ありがとうございました。(70歳以上)
- ・終わった時涙がとまりませんでした。ご縁があってこの舞台を見ることができました。私にとって初めてのプロの舞台でした。中1の子と一緒に見れて本当に良かったです。全身であびることができました。(50代)
- ・重いテーマをわかりやすく表現していて感動しました。ありがとうございました。(50代)
- ・忘れてました。広島・長崎の資料館に行って原爆のひどさを見て来たのに、時がたつと忘れてしまいます。続けて語ってください。(60代)
- ・言葉が出ない。何といえいいのか。生命の大切さ…忘れずにいたい。二度とこんな苦しみを味わいたくない。だれにでも味わせたくない。(60代)
- ・広島弁が良くわからない所もありましたが戦争のひざんさはわかりました。父と娘の心情が胸にせまり最後泣いてしまいました。(60代)



<担当者より>

昨今の世界情勢を見て、今この芝居をやらねばと踏み切ったという父・竹造役の松井さん。笑ったり、喧嘩したり、普段通りの生活を安心して送ることがどれだけ大切なことか、ひしひしと伝わってくるお芝居でした。終演後、時間が止まったかのように誰も立ち上がれなかったあの瞬間が忘れられません。